

INTERNATIONAL TEA DAY (国際お茶の日) と FAO (国際連合食料農業機関)

- 世界各国でのお茶に関する長い歴史と深い文化的・経済的意義を認識し、5月21日を「国際お茶の日」と宣言しました。FAO (本部はイタリアのローマ)は、この国際デーを主導する国際機関です。
- お茶の生産・加工は、特に開発途上国では、何百万もの家業の主要な生計手段となっています。この国際デーは、お茶の持続可能な生産、消費、貿易を促進し、茶セクターが幅広い経済的効果、雇用の確保、自然資源の保護に役割を果たせるよう、世界、地域、国レベルの各関係者への機会を創出します。



- <https://youtu.be/21rK14JSPH0>
- <https://youtu.be/7K14v9D15-w>

お茶の生産国と種類(中国六大分類)

- 世界でお茶が生産されている主な国は、日本は元より、中国、インド、スリランカ、インドネシア、タイ、ベトナム、ネパール、ニュージーランド、ケニア、ウガンダ、etc. 近年はアメリカやイギリスでも生産されています。
- お茶の種類は、日本でメジャーな緑茶をはじめ、紅茶、烏龍茶、最近人気の白茶、黄茶、そしてプアル茶などの黒茶。乳酸発酵などの微生物とはまた違う酸化発酵の度合いで種類が分かれ、淹れた時の水色や葉の色で名前が付いています。



tea.mode.akatsuki@gmail.com
